

東京

千代田 中央 新宿
港 文京 品川 北
目黒 大田 世田谷
渋谷 中野 杉並
豊島 板橋 練馬

速報や写真、話題の提供、催しなどの連絡先
朝日新聞 東京総局
〒100-0011
千代田区内幸町2-2-1
日本プレスセンタービル3階
☎ 03-3508-0390
fax 03-5157-0615
mail tokyo@asahi.com

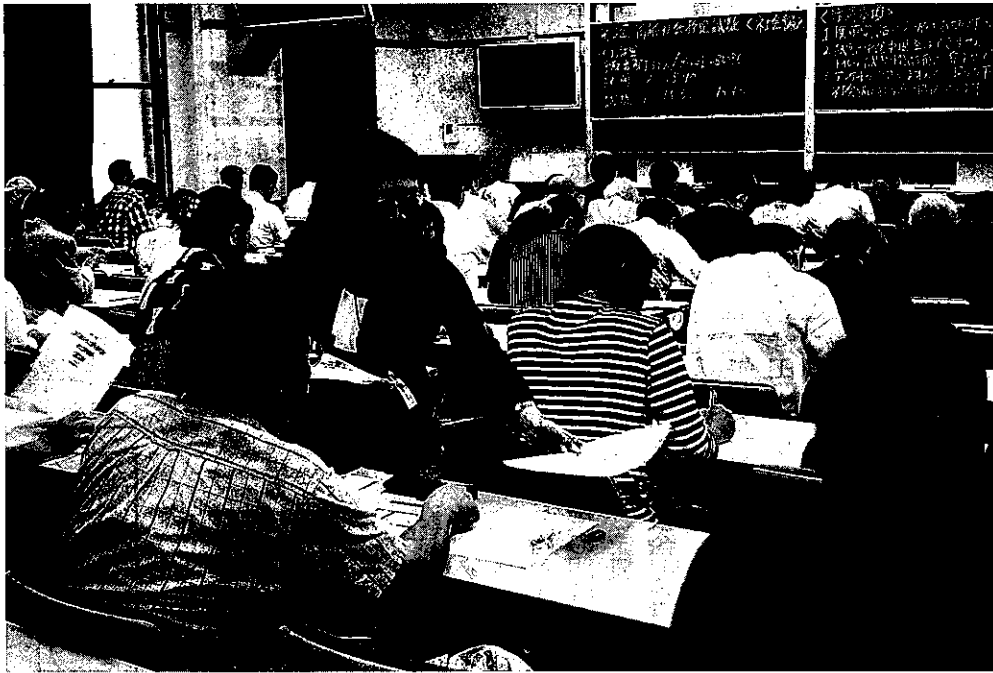
購読・配達のご用は
☎ 0120-33-0843
(7:00~21:00)
広告のご用は
☎ 03-3547-5552
折り込みのご用は
☎ 03-3544-7621

きょうの天気
6~12時 降水確率 12~18時

| | | |
|----|-----|----|
| 20 | 大手町 | 20 |
| 20 | 練馬 | 20 |
| 20 | 府中 | 20 |
| 20 | 八王子 | 20 |

大手町 府中
町 東北東 東北東

高齢社会検定に臨む人々。目黒区の東大駒場キャンパス



超高齢社会という難問 解ける？

東大教授らが作った検定

65歳以上の高齢者が人口の4人に1人を占める日本。2030年には3人に1人に。そんな「超高齢社会」における課題解決に役立つ知識を問う「高齢社会検定」が13日、東京大学駒場キャンパス(目黒区)であった。自治体職員や会社員ら250人が挑んだ。

検定は昨年に続き、2回目。東大は2009年度、全学部を横断する80人で組織する「高齢社会総合研究機構」を立ち上げた。高齢化最先進国となった日本。高齢者が少数だった人口構成の時代にできあがった現在の社会の仕組みを、根本から見直す取り組みが必要との問題意識からだ。

守備範囲は、「人はどう老いるのか」といった生物学的な研究や、医療・社会保障制度にとまらぬ。高齢社会で取り組むべき課題は、バリアフリー建築から、おむつを含めた服飾品の開発まで多岐にわたる。高齢社会の現状と課題について、一般の人にも幅広い知識を共有してもらおうと、検定を企画した。有志の東大教授らを中心に一般社団法人・高齢社会検定協会(会長・小宮山宏前東大総長)をつくり、昨年9月に初回を実施した。

試験は、同機構編著の「東大がつくった高齢社会の教科書」(ベネッセ)か

課題、施策やビジネスに

ら計100題が出る。合格すると、「高齢社会エキスパート」の認定証を授与される。

「未来を考える上での必須基礎知識」と銘打ち、主に企業や行政関係者、医療・福祉の専門職、学生らに参加を呼びかけた。

この日、試験会場には千葉県市原市の秋山浩保氏の姿があった。同市は地域医療体制の構築や、働くことを通じた高齢者の生きがいづくりなどに力を入れている。「施策は事実ベースで考えないと。いい機会と思っ

た」。港区の銀行副支店長の男性(45)は、支店の取り組みとして管理職7人で受けた。「顧客は高齢者が多い。知識をもって対応する意識を行内に浸透させるきっかけにしよう」と。半年間、テキストを勉強して臨んだという。(井上恵一朗)

老いる東京 2010年の国勢調査では、都内の65歳以上の高齢者は約264万人。人口に占める割合(高齢化率)は20.4%だった。国立社会保障・人口問題研究所の40年までの将来推計によると、高齢者数は30年に約350万人、40年には400万人を突破。40年の高齢化率は33.5%に達する。75歳以上の後期高齢者は40年には約213万人になり、17.4%を占める。

13日の検定で出題された一例

問1 身体が弱ったときに望む居住形態を聞いた内閣府の調査(2010年)で、「現在の住宅に住み続けたい」と回答した割合はどれか、一つ選びなさい。
①26% ②46% ③66% ④86%

問2 2030年までに予測される人口及び世帯の変化の特徴として正しいものを一つ選びなさい。

- ①高齢者の中でも特に65~74歳までの高齢者が増える
- ②今後増える高齢者は女性よりも男性の方が多い
- ③単身者の増加に伴って一般世帯の総数は2030年まで増え続ける

④独居高齢者は2030年まで増え続ける

問3 60歳以上の男女を対象とした内閣府の調査(2008年)で「何歳まで働きたいか」という質問に、「70歳以上~働けるうちはいつまでも働きたい」と回答した割合として最も近いものを一つ選びなさい。
①3割 ②5割 ③7割 ④9割

問4 65~74歳の高齢者の中で要支援・介護の認定を受けている割合として最も近い数値を一つ選びなさい。
①4% ②8% ③12% ④16%

(答えはこのページのどこかに)

自治体職員・会社員ら挑戦

東京

千代田 中央 新宿
港 文京 品川 北
目黒 大田 世田谷
渋谷 中野 杉並
豊島 板橋 練馬

速報や写真、話題の提供、催しなどの連絡先
朝日新聞 東京総局
〒100-0011
千代田区内幸町2-2-1
日本プレスセンタービル3階
☎ 03-3508-0390
fax 03-5157-0815
mail tokyo@asahi.com

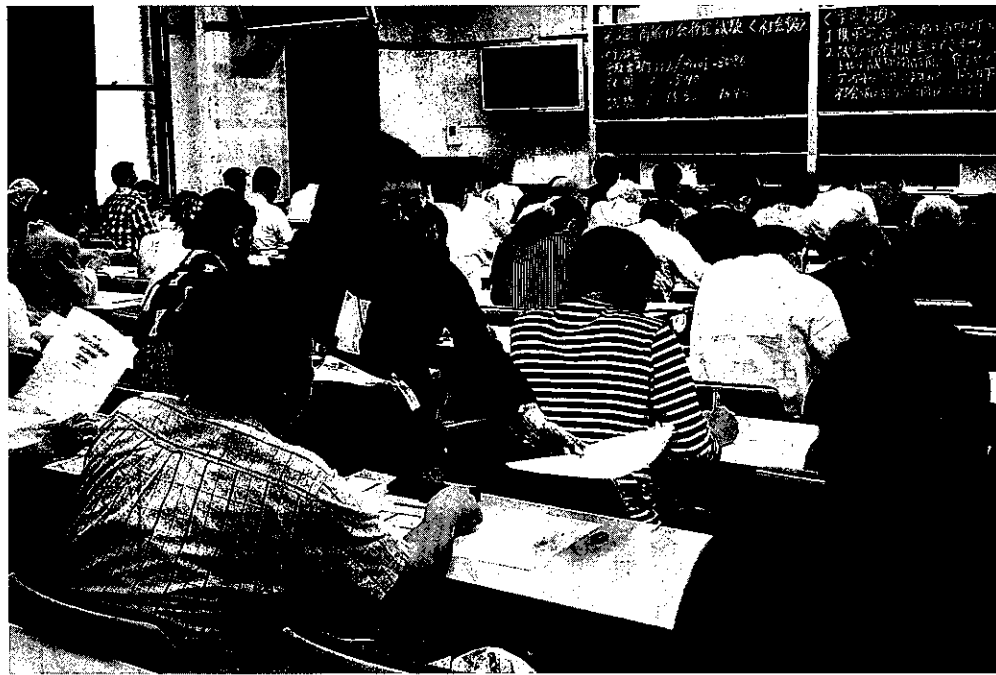
購読・配達のご用は
☎ 0120-33-0843
(7:00~21:00)
広告のご用は
☎ 03-3547-5552
折り込みのご用は
☎ 03-3544-7621

きょうの天気
6~12時 降水確率 12~18時

| | | |
|----|-----|----|
| 20 | 大手町 | 20 |
| 20 | 練馬 | 20 |
| 20 | 府中 | 20 |
| 20 | 八王子 | 20 |

大手町 府中
町 東北東 東北東

高齢社会検定に臨む人たち。目黒区の東大駒場キャンパス



超高齢社会という難問 解ける？

東大教授らが作った検定

65歳以上の高齢者が人口の4人に1人を占める日本。2030年には3人に1人に。そんな「超高齢社会」における課題解決に役立つ知識を問う「高齢社会検定」が13日、東京大学駒場キャンパス(目黒区)であった。自治体職員や会社員ら250人が挑んだ。

検定は昨年に続き、2回目。東大は2009年度、全学部を横断する80人で組織する「高齢社会総合研究機構」を立ち上げた。高齢化最先進国となった日本。高齢者が少数だった人口構成の時代にできあがった現在の社会の仕組みを、根本から見直す取り組みが必要との問題意識からだ。

守備範囲は、「人はどう老いるのか」といった生物学的な研究や、医療・社会保障制度にとまらなない。高齢社会で取り組むべき課題は、バリアフリー建築から、おむつを含めた服飾品の開発まで多岐にわたる。

高齢社会の現状と課題について、一般の人にも幅広い知識を共有してもらおうと、検定を企画した。有志の東大教授らを中心に一般社団法人・高齢社会検定協会(会長・小宮山宏前東大総長)をつくり、昨年9月に初回を実施した。

試験は、同機構編著の「東大がつくった高齢社会の教科書」(ベネッセ)か

課題、施策やビジネスに

ら計100題が出る。合格すると、「高齢社会エキスパート」の認定証を授与される。

「未来を考える上での必須基礎知識」と銘打ち、主に企業や行政関係者、医療・福祉の専門職、学生らに参加を呼びかけた。

この日、試験会場には千葉県市原市の秋山浩保氏の姿があった。同市は地域医療体制の構築や、働くことを通じた高齢者の生きがいづくりなどに力を入れている。「施策は事実ベースで考えないと。いい機会と思っ

た」。港区の銀行副支店長の男性(45)は、支店の取り組みとして管理職7人で受けた。「顧客は高齢者が多い。知識をもって対応する意識を行内に浸透させるきっかけにしよう」と。半年間、テキストを勉強して臨んだという。(井上恵一朗)

老いる東京 2010年の国勢調査では、都内の65歳以上の高齢者は約264万人。人口に占める割合(高齢化率)は20.4%だった。国立社会保障・人口問題研究所の40年までの将来推計によると、高齢者数は30年に約350万人、40年には400万人を突破。40年の高齢化率は33.5%に達する。75歳以上の後期高齢者は40年には約213万人になり、17.4%を占める。

自治体職員・会社員ら挑戦

13日の検定で出題された一例

問1 身体が弱ったときに望む居住形態を聞いた内閣府の調査(2010年)で、「現在の住宅に住み続けたい」と回答した割合はどれか、一つ選びなさい。
①26% ②46% ③66% ④86%

問2 2030年までに予測される人口及び世帯の変化の特徴として正しいものを一つ選びなさい。

- ①高齢者の中でも特に65~74歳までの高齢者が増える
- ②今後増える高齢者は女性よりも男性の方が多い
- ③単身者の増加に伴って一般世帯の総数は2030年まで増え続ける

④独居高齢者は2030年まで増え続ける

問3 60歳以上の男女を対象とした内閣府の調査(2008年)で「何歳まで働きたいか」という質問に、「70歳以上~働けるうちはいつまでも働きたい」と回答した割合として最も近いものを一つ選びなさい。

- ①3割 ②5割 ③7割 ④9割

問4 65~74歳の高齢者の中で要支援・介護の認定を受けている割合として最も近い数値を一つ選びなさい。

- ①4% ②8% ③12% ④16%

(答えはこのページのどこかに)

